

開催年月日 令和4年9月28日(水)
 質問者 日本共産党 宮川 潤 議員
 答弁者 知 事 鈴木 直道
 保健福祉部長 京谷 栄一

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>五 物価高騰と道民生活について (三) 医療機関及び高齢者施設における物価高騰について 医療機関の入院時食事療養費は診療報酬で定められているため、食材の価格等経費が増嵩しても、それに見合った収入増を図ることはできません。事実上、25年以上引き上げられていません。 同様に、高齢者施設でも食材費や光熱費など経費増が著しい状況です。 医療機関及び高齢者等の施設における物価高騰の影響をどう認識しているのですか。 国に対応を求めるべきですが、如何ですか。道としての支援も検討すべきですが、如何か、併せて伺います。</p> <p>再一 (三) 医療機関及び高齢者施設における物価高騰について 学校給食においては、地方創生臨時交付金の活用で物価高騰の影響を補填することが認められています。食材の高騰が著しいため、補填が必要であることを国も認めているということでもあります。 学校給食以外の食事提供で公定価格が定められているものについても、支援が必要だと考えますが、知事の見解はいかがでしょうか。 また、道としての対処方針をお示してください。</p>	<p>【保健福祉部長】 医療機関等における物価高騰への対応についてでございますが、医療機関や介護サービス事業所等は、国が定める公定価格に基づき運営されておりますことから、事業者の経営努力のみによって現下の物価高騰に対応することは、困難な状況にあるものと認識をしております。 このため、道では、本年7月、こうした事業所の継続的なサービスの提供に支障のないよう、臨時的な支援を早急に実施することや、公定価格に適切に反映することなどについて、国に要望を行うとともに、道として、緊急経済対策を取りまとめ、原材料高騰等の影響を受けている事業者への支援も行っているところでございます。 今後、先日明らかとなった国の追加対策を踏まえつつ、厳しい経営環境にある事業者や関係団体の方々の声も伺いながら、道民の皆様の命と暮らしを支える医療介護福祉サービスの安定した提供が図られるよう努めてまいります。</p> <p>【知事】 最後に物価高騰と道民生活に関し、医療機関等に対する支援についてであります。医療機関や介護サービス事業所等は、公定価格に基づき運営されており、経営努力のみによって現下の物価高騰に対応することは、困難な状況にあるものと認識しております。 また、道内は、これから冬期を迎え、事業者の皆様は、益々厳しい経営努力を求められることから、道としては、こうした厳しい経営環境にある事業者の方々の声も伺いながら、道民の皆様の命と暮らしを支える医療介護福祉サービスの安定した提供が図られるよう努めてまいります。</p>